

この問題用紙は
持ち帰りできません

第11回

一般社団法人環境プランニング学会認定

環境プランナー・ベーシック資格試験

問題用紙

2014年6月22日(日)

(13時50分説明開始 制限時間2時間)

受験番号	
受験者氏名	



一般社団法人環境プランニング学会

1. 注意・確認事項

- (1) 問題用紙は、4～18ページ（問題は両面）です。
また、解答用紙は別紙（1枚で、両面解答）です。
- (2) 問題用紙・解答用紙は持ち帰りできません。試験終了とともに回収いたします。
- (3) 答えは必ず解答用紙の「所定の欄」に記入してください。問題用紙に記入しても採点の対象になりません。
- (4) 解答用紙には、鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（ボールペンは使用不可）
- (5) 間違って記入の場合は、跡が残らないように消しゴムで消してください。
答えが二つ以上読み取れる場合は、採点の対象になりません。
- (6) 解答欄は、1つの記入欄に1つの答えを記入してください。二つ以上記入の場合は採点の対象になりません。
- (7) 試験開始後1時間以上経過したら、退出が可能です。着席のまま手を上げて静かにお待ちください。試験官が問題用紙・解答用紙を回収した後、静かに退出してください。但し、試験終了時刻の10分前からは退出できません。終了時刻まで静かにお待ちください。
- (8) 試験問題の構成は以下の通りです。記入漏れがないように願います。
合計点が70点以上で合格となります。

2. 試験問題の構成

問題番号	問題の形式	小計
第1問	○×問題	各1点×10問＝10点
第2問	文中の空欄に適切な語句や組み合わせを選び、その記号を記入する問題	各1点×10問＝10点
第3問	適切または不適切な記述を選択し、その記号を記入する問題	各1点×10問＝10点
第4問	適切または不適切な文章を選択し、その記号を記入する問題	各2点×5問＝10点
第5問	文章の[]にはいる語句を選択し、その記号を記入する問題	各1点×20問＝20点
第6問	文章の[]にいれる適切な語句を考え、語句を記入する問題	各1点×20問＝20点
第7問	記述式問題：語群にある語句を使用し、文章を作成する問題	各10点×2問＝20点
合計		100点

第1問（各1点×10問）

次の①～⑩までの文章で、内容が正しいものには○、間違っているものには×を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

- ① 気候変動枠組条約第20回締約国会議（COP20）は、本年（2014年）12月にペルーのリマで開催される予定である。
- ② 世界の人口は、今後アジア・アフリカ・中南米を中心に増加すると予測されているが、世界の人口は、今後の女性の高学歴化、社会的地位の向上に左右されると言われる。
- ③ ハルディーズ号事件とは、1989年に発生した有害廃棄物の国際越境事件である。
- ④ 国際的には、特に先進国では、企業が環境に配慮するのは今や常識となっている。2010年にはCSR規格ISO50001（JIS Q50001）が発行され、企業組織にとって環境配慮は、社会的責務となっている。
- ⑤ 地球の二酸化炭素濃度は、18世紀の産業革命以前は約280ppm程度であったが、現在は約390ppm程度と約1.4倍になっている。
- ⑥ ステークホルダー（利害関係者）とは、具体的には株主、顧客、従業員、行政機関、地域社会など、企業及び企業の活動に何らかの影響を与えたり、その影響を受けたりする主体を指している。
- ⑦ 最近の日本のエネルギー使用量は、産業・運輸・業務・家庭のすべての部門で、1990年の使用量を上回っている。
- ⑧ 環境負荷を減らすためにエコ製品を購入することを「グリーン購入」と呼んでいるが、環境配慮された製品を選んで購入する人達を「グリーンメンバーズ」と呼んでいる。
- ⑨ 「循環型社会形成推進基本法」でのサーマルリサイクルとは、ボイラーなどで発生する廃熱を回収して熱効率を向上させることである。
- ⑩ 環境会計とは、環境活動のコストパフォーマンスを貨幣的単位及び物量単位で定量的に表し、見える化する会計的手法である。

第2問（各1点×10問）

次の①～⑩までの問いの〔 〕の部分にあてはまる最も適切な語句を、1つ選びその記号を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

- ① 日本の公害の歴史において、最初の公害と言われるものは〔 〕である。
- (ア) 愛媛県別子銅山で発生した亜硫酸被害
 - (イ) 栃木県足尾銅山における足尾銅山鉱毒事件
 - (ウ) 富山県神通側流域で発生したイタイイタイ病
 - (エ) 熊本県水俣市で発生した水俣病
- ② 素材系産業で使用されるエネルギー量は大変多く、鉄鋼、化学、窯業土石及び紙パルプの4つの素材系産業で、製造業全体の消費エネルギーの〔 〕以上を占めている。
- (ア) 40%
 - (イ) 55%
 - (ウ) 70%
 - (エ) 85%
- ③ 日本の個別物品の特性に応じた再資源化規制、いわゆる各種リサイクル法とは、容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、食品リサイクル法、〔 〕、自動車リサイクル法、小型家電リサイクル法である。
- (ア) 建設リサイクル法
 - (イ) パソコンリサイクル法
 - (ウ) 古紙リサイクル法
 - (エ) がれき等リサイクル法
- ④ 6次産業とは第1次産業（農業・漁業等）＋第2次産業（食品加工）＋第3次産業（〔 〕）の数を足し算したものであり、2010年6次産業化法（地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律）が制定された。
- (ア) リサイクル及び廃棄処分
 - (イ) 有機肥料化
 - (ウ) 廃棄物のメタン発酵による燃料化
 - (エ) 流通・販売

⑤ 日本の資源利用状況の変化を示す指標には、資源生産性、[] 及び最終処分量がある。

- (ア) 循環利用率
- (イ) 輸出量
- (ウ) エネルギー使用量
- (エ) 自然還元率

⑥ 近年話題となっているシェールガスは、地下深く存在する堆積岩の一種である[]の層から採取される天然ガスである。

- (ア) 石灰岩
- (イ) 頁岩
- (ウ) 礫岩
- (エ) 砂岩

⑦ 夏の熱や冬の冷熱は地中に蓄えられ、地下5m付近の地中熱は、関東・東海地方では、年間を通じて[]程度であり、積極的利用が望まれる。

- (ア) 5℃～8℃
- (イ) 10℃～12℃
- (ウ) 15℃～18℃
- (エ) 22℃～25℃

⑧ 1次エネルギー源とは、自然界に存在するままのエネルギー源で、石油、石炭、天然ガス、[] 及び自然エネルギー等があげられる。

- (ア) 電気
- (イ) ウラン
- (ウ) ガソリン
- (エ) 都市ガス

⑨ 都市が急速に発展、拡大し、郊外に無秩序・無計画に開発が進んで虫食い状態となることを[]現象と呼んでいる。

- (ア) ドーナツ化
- (イ) ニュータウン化
- (ウ) クラスタ化
- (エ) スプロール化

⑩ エコアクション21（EA21）は、中小企業向けの簡易環境マネジメントシステムであり、[]が中心となり基準を策定した。

- (ア) 環境省
- (イ) 国土交通省
- (ウ) 経済産業省
- (エ) 総務省

第3問 (各1点×10問)

次の①～⑩までの問いにあてはまる記述の記号を1つ選び、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

- ① 「国際的取り組みが必要な環境問題及びその発生原因」について、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 二酸化炭素やメタン等の温室効果ガスによる「地球温暖化」
- (イ) 化石燃料等から放出される NF_3 (3フッ化窒素) による「酸性雨」
- (ウ) 冷媒等に使用されているフロン類から遊離した塩素による「オゾン層の破壊」
- (エ) 家畜の過放牧や不適切な土地使用による「砂漠化の進行」

- ② 「食品リサイクル法」について、最も適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 「食品リサイクル法」では、食品の製造業者に対し、食品廃棄物をリメイクし、再度食品化することを推奨している。
- (イ) 「食品リサイクル法」は、家庭から出る食品廃棄物の適正な処理も対象としている。
- (ウ) 「食品リサイクル法」は食品の製造・加工・販売業者が食品廃棄物を減らし、廃棄物となったものは肥料化、飼料化、メタン化、油脂製品化等でリサイクルすることを求めている。
- (エ) 「食品リサイクル法」は、製造業者を対象としており、販売業者までは対象としていない。

- ③ 「環境活動の評価の手法」について、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 環境パフォーマンスを改善していくためには、PDCAを回すことが重要であるが、特に「C(チェック)」機能で活動を適切に評価し、次の改善につなげていくことが重要である。
- (イ) 「環境活動を評価し見える化する」ことは、組織の経営判断のための情報提供及びステークホルダー(利害関係者)に対する情報公開という二つの役割がある。
- (ウ) 環境影響評価(EPE)のために、「ISO14031(JISQ14031)環境マネジメントー環境パフォーマンス評価ー指針」が規格化されている。
- (エ) 環境活動評価における「環境パフォーマンス指標」とは、環境活動による経営改善の成果を示している。

④ 「バイオマスエネルギー」について、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) バイオマスとは、生物資源の量を物質の量として表したものであり、バイオマスを利用した燃料はバイオ燃料と呼ばれている。
- (イ) 「スーパーゴミ発電」とはゴミを化学的に処理し、液状化して発電効率を高める方法である。
- (ウ) バイオマスの種類には廃棄物系と栽培作物系があり、廃棄物系には農業や畜産、林業から発生する廃棄物が含まれる。
- (エ) バイオマスは、単に燃やすだけのエネルギーから、化学的に得られたメタンやエタノール、メタノール、メチルエステル等を自動車の燃料や発電にも利用している。

⑤ 「省エネ法（エネルギーの使用の合理化等に関する法律）」に関して、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 「省エネ法」では、第1種エネルギー管理指定工場に対し、省エネルギーの中長期計画の策定、エネルギー使用状況の定期報告、エネルギー管理者の選任・届出を義務付けている。
- (イ) 「省エネ法」では、第2種エネルギー管理指定工場に対し、エネルギー使用状況の定期報告、エネルギー管理員の選任・届出を義務付けている。
- (ウ) 「省エネ法」では、第1種エネルギー管理指定工場は年間エネルギー使用量原油で3,000kl以上、電気使用量1,200万kWh以上のみを対象としている。
- (エ) 「省エネ法」では機械器具に関し、製造業者等の省エネルギーの努力義務、判断基準の公表、トップランナー方式などについて定めている。

⑥ 「エコロジカルフットプリント」に関して、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 「エコロジカルフットプリント」とは、世界自然保護基金（WWF）の「生きている地球レポート」にて用いられた概念である。
- (イ) 「エコロジカルフットプリント」では、「その国で消費される食料、繊維、木材等を生産する耕作地・牧草地・漁場及び排出される廃棄物を吸収するために必要な土地やインフラ設備建設に必要な土地」の面積を集計したものを、グローバル・ヘクタールという単位であらわしている。
- (ウ) 「エコロジカルフットプリント」の基本的考え方は、「人間が利用する自然の量は実在し生産される自然の量以下であることが持続可能性の原則である」という点である。
- (エ) 人間の諸活動は、環境が生み出す生産力の範囲内に抑える必要があるが、2100年にはその範囲を超える可能性がある」と指摘されている。

- ⑦ 「地球温暖化に関する条約」に関して、最も不適切な記述を1つ選びなさい。
- (ア) 2013年ポーランドで開催されたCOP19で、日本は「2020年に1990年比3.8%削減」を表明した。
 - (イ) 2011年南アフリカで開催されたCOP17で日本は、2013年以降の京都議定書第2約束期間に対し不参加を表明した。
 - (ウ) 2012年カタールで開催されたCOP18（第18回気候変動枠組条約締約国会議）では、2020年以降世界のすべての国に拘束力を持つ新たな枠組みを、2015年までに設計することを決定した。
 - (エ) 「気候変動枠組条約」に基づく「京都議定書」の第1約束期間は、2008年から2012年までであり、日本は目標を達成した。
- ⑧ 「日本のマテリアルフロー」に関して、最も不適切な記述を1つ選びなさい。
- (ア) 廃棄物の発生量に対し、約4割は脱水や焼却等により減量化されている。
 - (イ) 「日本のマテリアルフロー」でのアウトプット量は、蓄積されるもの、消費や廃棄されるもの、輸出されるもの、循環利用されるものに大別される。
 - (ウ) 日本に輸入される資源や製品に対し、輸出される製品等の物質量は約5分の1程度であり、日本は資源採取段階や製品生産段階で、諸外国に環境負荷をかけていることになる。
 - (エ) 「日本のマテリアルフロー」において、総物質投入量とは、輸入製品、輸入資源、国内資源を加えたものである。
- ⑨ 「仮想水（バーチャルウォーター）」について、最も不適切な記述を1つ選びなさい。
- (ア) 日本に輸入される仮想水が最も多い国はアメリカで、2番目は中国である。
 - (イ) 農産物1kgを生産するのに必要な仮想水は、米が3.6トン、小麦が2.0トンであり、コメの方が多い。
 - (ウ) 牛肉、豚肉、鶏肉を生産するために必要な仮想水は、多い順に牛肉、豚肉、鶏肉である。
 - (エ) 食料輸出国には、地下水を利用して食料を生産している国が多くあるが、塩害化の問題、水質問題、地下水の枯渇等の問題を抱えている国が存在する。
- ⑩ 「トリプルボトムライン」について、最も不適切な記述を1つ選びなさい。
- (ア) 一般に「トリプルボトムライン」とは、決算書の最終行に収益や損失の最終結果を示すものである。
 - (イ) 「トリプルボトムライン」は、経済、環境、資源の三つを同時に成り立たせることを求めたものである。
 - (ウ) 「トリプルボトムライン」は企業が最重視すべきものは3つであるとして示したものである。
 - (エ) 「トリプルボトムライン」の考え方は、「GRI（Global Reporting Initiative）」の持続可能性報告ガイドラインの骨格となっている。

第4問（各2点×5問）

次の①～⑤までの問いにあてはまる文章の記号を1つ選び、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

①「廃掃法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）」について、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

（ア）廃棄物の種類には、産業廃棄物と一般廃棄物があり「爆発性、毒性、感染性、その他人の健康又は生活環境に被害を生じる恐れのある性状を有するもの」を特別管理産業廃棄物及び特別管理一般廃棄物と称している。

（イ）産業廃棄物を排出する事業者（排出事業者）は、その産業廃棄物の運搬または処分を他人に委託する場合は、産業廃棄物の引渡と同時に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付しなければならない。

（ウ）産業廃棄物の処理責任は排出事業者にあり、自らその産業廃棄物を処理するか、又は許可を持った処理業者に委託する義務を負う。一般廃棄物の処理責任は、排出者である各家庭の世帯主にある。

（エ）「廃掃法」は、上位に「循環型社会形成推進基本法」があり、またさらにその上位に「環境基本法」があると位置づけられる。

②「NPOとボランティアの活動」に関する次の文章で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

（ア）NPOとは「Non Profit Organization」の省略形で、広義では利益の再配分を行わない非営利団体を指すが、狭義では「特定非営利活動促進法」によって国や都道府県に認証を受けた団体（NPO法人）を指す。

（イ）NPOは団体を主体とした活動であるが、ボランティアは個人を主体とした活動である。言い換えればNPOは活動の場を作り参加を求め、ボランティアは参加する側であると言える。

（ウ）近年、地方公共団体の財政事情の悪化と、市民の行政への積極的関与という面から、行政とNPOとの協働（コラボレーション）が積極的に進められている。

（エ）NPO法人は非営利団体であり、利益をあげることは禁じられているため、法人の従業員へ給与を支払ったり、光熱費を経費として扱うことはできない。

③ 「ロハスとスローライフ」に関する次の文章で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

(ア) 「LOHAS」とは、Lifestyles of Health and Sustainability の頭文字をとった略語で、元々は1990年代の後半にアメリカで生まれたマーケティングコンセプトであった。

(イ) 日本では、「ロハス」を「健康や環境を志向するライフスタイル」として、地球環境の持続性に関心を持ち、環境意識が高く健康志向の人たちの生活スタイルを指している。

(ウ) 「スローライフ」とは、「ファストフード」に対して伝統的な食文化を評価する「スローフード」から派生した考え方であり、我々の生活を見直し、ものの充足から心の豊かさを志向した文化的生活を目指したライフスタイルである。

(エ) 「スローライフ」の事例としては、自動車や列車の速度を抑えて安全でゆとりのある運転を行うことがあげられる。

④ 「IPCC の活動」に関する次の文章で、最も適切な記述を1つ選びなさい。

(ア) IPCC（気候変動に関する政府間パネル）は、1972年に開催された「国連人間環境会議」において設立が決められた機関であり、数年おきに「評価報告書」が発行されている。

(イ) 2013年9月に発行されたIPCC第5次評価報告書の第1作業部会報告書における最大排出量シナリオでは、1986年～2005年を基準とした2081年～2100年における世界の平均海面水位の上昇は、45cm～82cmの範囲に入る可能性が高いとしている。

(ウ) 2013年9月に発行されたIPCC第5次評価報告書の第1作業部会報告書における最大排出量シナリオでは、1986年～2005年を基準とした2081年～2100年における世界の平均気温は4.6℃～6.8℃の範囲に入る可能性が高いとしている。

(エ) 海面が上昇した場合、高潮や台風時の被害が考えられるが、日本は毎年台風に見舞われている関係で対応済みであり、あまり問題視されていない。

⑤ 「温室効果ガス削減の方策」に関する次の文章で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 二酸化炭素発生には、エネルギー起源と非エネルギー起源によるものがあり、非エネルギー起源は、薪炭やメタンガス等の燃焼により発生するものである。
- (イ) 森林から取れる木材だけを燃料にして、森林を適切に維持すれば二酸化炭素濃度はバランスすることになる。しかし、現代の世界の人々の生活や産業で消費される化石燃料は莫大であり、過去の遺産を使い続けている。
- (ウ) 化石燃料によらない原子力発電は、二酸化炭素排出量削減には有効であるが、放射能による被曝や汚染の問題、放射性廃棄物の処理方法等の問題を考慮する必要がある。
- (エ) 地球温暖化の主原因は、化石燃料の使用による二酸化炭素等の温室効果ガス排出量の増加によるものだけでなく、熱帯雨林等の森林の減少による二酸化炭素吸収量の削減による影響もある。

第5問 (各1点×20問)

次の1～4までの問いの [] の部分にあてはまる最も適切な語句を、下記の語群の中から1つ選び、その記号を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

1. 「持続可能な発展（開発）」に関する問題

持続可能な発展（開発）とは、IUCN（国際自然保護連合）、WWF（世界自然保護基金）、[①] による「世界自然（資源）保全戦略」で用いられた「環境と経済の両立」を求める概念である。WCED（環境と開発に関する世界委員会）の報告書 [②] では、持続可能な発展（開発）とは、「将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことがないような形で、現在の世代のニーズをも満足させる発展（開発）」と定義されている。

1992年にリオデジャネイロで開催された [③] では、この持続可能な発展（開発）がメインテーマとなり、[④] および具体的行動計画 [⑤] が採択された。

- 【語群】 (ア) ISO（国際標準化機構） (イ) UNEP（国際環境計画）
(ウ) OECD（経済協力開発機構） (エ) 我ら共通（共有）の未来
(オ) 未来への遺言 (カ) サステナビリティレポート (キ) G8
(ク) 地球サミット (ケ) リオ宣言 (コ) カイロ宣言
(サ) マニフェスト21 (シ) アジェンダ21 (ス) アクション21

2. 「森林の保全と水資源」に関する問題

世界の森林は伐採や農地開発により年々減少しつつあり、1990年から2005年までに、1億2千5百万ヘクタールの森林が消滅したことになる。これは毎年日本の森林面積の約 [⑥] が減少している計算になる。

熱帯雨林は、世界の生物種の半数以上の生息場所と言われ、[⑦] にとって非常に重要な役割を担っている。

日本の森林面積は、最近の40年間を見ると、2千5百万ヘクタールでほぼ一定である。世界的に見ても森林率は先進国の中では高く、約 [⑧] である。しかし一人当たりの森林面積は約0.2ヘクタールであり、森林に恵まれているとは言い難い。日本の森林は、降雨量が多く、山地が多いために森林が維持されていると言える。

また日本の森林は戦後の経済復興に向け、木材資源確保のため多くの天然林が伐採され、スギ、ヒノキといった経済林（針葉樹）に変貌した。しかしブナ林などの天然林は [⑨] と呼ばれるほど厚い表土層によって保水能力に優れ、さらに [⑩] 能力にも優れている。

- 【語群】 (ア) 1/5 (イ) 1/6 (ウ) 1/3 (エ) 生物多様性 (オ) 保水効果
(カ) 遺伝子のかく乱 (キ) 47% (ク) 55% (ケ) 68%
(コ) 緑のダム (サ) 森のゆりかご (シ) 治水 (ス) 水質浄化

3. 「化学物質の管理」に関する問題

公害や環境汚染をもたらす原因には、化学物質が多く含まれている。しかし化学物質の適正な使用は、人類にとってきわめて有用である。化学物質の管理の程度は、その有用性に対し、社会がどこまで [⑪] を容認するかで決まる。

化学物質の管理に関する法律「化管法(化学物質の管理に関する法律)」では、[⑫] 制度に基づく報告だけを組織に求めているわけでない。この法律の本来の目的は、指定化学物質の管理強化、使用量の削減、[⑬] の開発促進などである。

有害化学物質の国際的管理システムとして [⑭] がある。これは健康、環境及び物理化学的 [⑮] に応じて化学物質を分類する基準である。

【語群】(ア) 効果 (イ) リスク (ウ) コスト (エ) PPT (オ) PRTR
(カ) TPP (キ) 代替物質 (ク) 新薬 (ケ) 製造方法 (コ) GPT
(サ) SDS (シ) GHS (ス) ハザード (セ) 有効性

4. 「天然資源の枯渇とその原因」に関する問題

世界のエネルギー使用量は、産業革命以降急激に増加し続けている。主な要因には世界の人口の爆発的増加及び1人当たりのエネルギー消費量の増加にある。

世界の人口は、20世紀の100年間に約[⑯] となり、2011年には70億人を超えたとされている。また2050年ごろには世界の人口は[⑰] を超える見通しである。

人口が増加し、便利な生活を求めて1人当たりのエネルギー消費量が増えれば、天然資源である化石燃料が枯渇し、二酸化炭素の濃度が上昇し、[⑱] がさらに進んでいくと考えられる。対応策としては、過度な[⑲] をひかえ、省エネルギーをさらに推進し、再生可能である[⑳] の利用推進を図る必要がある。

【語群】(ア) 2倍 (イ) 3倍 (ウ) 4倍 (エ) 80億人 (オ) 90億人
(カ) 110億人 (キ) 砂漠化 (ク) 温暖化 (ケ) 浪費
(コ) 経済成長 (サ) 食料生産 (シ) 自然エネルギー (ス) 労働
(セ) リサイクル製品

第6問 (各1点×20問)

次の1～4までの問いの〔 〕の部分にあてはまる、最も適切な語句を考え、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

1. 「環境配慮製品」に関する問題

環境配慮製品と呼ばれる物品は沢山存在するが、大きく分けて二つの製品が存在する。

まず使用時の〔 ① 〕が他の製品に比較して少ない製品である。例えばエンジンと電気モーターを併用し、燃費の良い〔 ② 〕や断熱性能の高い住宅、LED 照明器具、高効率エアコン・冷蔵庫等があげられる。

さらに環境配慮製品には、使用原材料にリサイクルされた原料を使用したものがある。例として〔 ③ 〕があげられる。また、製品によっては、繰り返し使えるように作られた容器を〔 ④ 〕としたものや、洗剤やシャンプー等の詰替用のリフィル製品も販売されている。

このように環境配慮された物品等を購入するのに参考となる法律として〔 ⑤ 〕があり、対象品目としては2014年2月の閣議決定で19分野267品目となった。

2. 「環境事故、不祥事と企業倫理」に関する問題

環境事故や不祥事の発生原因には、組織で定めた〔 ⑥ 〕を守らない、倫理観の低下、遵法精神の低下等が考えられる。倫理と法との違いについては、倫理は〔 ⑦ 〕的であり、法は他律的である。不祥事を起こさないように法を厳しくしていけば、それをくぐろうという行為が発生したり、大変窮屈で〔 ⑦ 〕が働かない世界になる。

法と倫理は〔 ⑧ 〕関係にある。

倫理を守るか否かは、個人に委ねられ、法とか規則を超えた意識の問題である。そのためにも環境倫理、環境〔 ⑨ 〕が重要となってくる。

企業倫理のもととなるもので、企業の基本的行動規範を示したものに〔 ⑩ 〕がある。これは一般に創業者が従業員に示したものである。

3. 「環境マネジメントシステム導入による効果」に関する問題

環境マネジメントシステムは、業務推進の原則である [⑪] サイクルを回して、環境パフォーマンスを継続的に改善する経営管理ツールとすることができる。そして環境マネジメントシステムへの取り組みは [⑫] 的活動であり、適切に運用することにより、次のような効果を期待することができる。

- ①環境パフォーマンスの継続的改善のツールとしての活用
- ②環境 [⑬] の回避
- ③コストダウン、利益の向上
- ④従業員の環境マインドの向上及び社内 [⑭] の活発化
- ⑤ステークホルダー（利害関係者）からの評価向上

ステークホルダーの評価は組織の情報公開によることが大きい。これはステークホルダーの組織の活動への関心の高まりを背景とした潮流であり、逆に非公開は組織の [⑮] 体質とみられる危険性すら秘めている。

4. 「地球環境問題と国際条約」に関する問題

環境問題に対する国際的取り組みが必要な取り決めには、条約や [⑯] がある。条約は文書による国家間の合意であり、条約の内容について国家が最終確認を行い、条約に拘束されることに同意することを [⑰] という。

環境関連の条約の例としては下記のようなものがある。

地球環境問題	主な国際条約
地球温暖化	[⑱] 条約
オゾン層の破壊	[⑲] 条約
海洋汚染	[⑳] 条約

第7問 (各10点×2問)

次の記述式問題 (1) 及び (2) に答えなさい。

(1) 「生物多様性の保全への取組」について、下記語群の中の語句を選択し、自分の考え方を盛り込んで解答欄に記述しなさい。

すべての語句を使わなくても、語句を追加しても、また複数回使用してもよいが、少なくとも語群の5つ以上の語句を使用すること。使用した語句は、解答文中にアンダーラインを引いて示すこと。

【語群】 ①生態系サービス ②種の多様性 ③生態系の多様性 ④遺伝子の多様性
⑤自然や生物の観察等 ⑥生態系ピラミッド ⑦食物連鎖 ⑧森林の保全
⑨里地里山 ⑩外来種の持ち込み ⑪開発や乱獲

(2) 下記の文章を読んで問題に答えなさい。

給食センター（延床面積 500 m²以上）からの排水に対しては、厨房除害設備（厨房から排水される油脂等を分離する設備）を設置し、定期的清掃、廃棄物の除去等が義務付けられている。しかし先月、A給食センターでは、除害設備からの排水に、基準値以上の脂分が含まれていることが市の検査で判明した。原因を調べたら、給食センターの設備担当者がかわり、業務の引き継ぎが口頭で行われ、定期的清掃及び廃棄物除去が半年以上実施されていなかったことが判明した。

【問題】 上記の事態に対して、給食センターの管理者として、コンプライアンス及び再発防止という観点からどのような手を打てばよいか、下記の語群の語句を用いて解答欄に記述しなさい。すべての語句を使わなくても、語句を追加しても、また複数回使用してもかまわないが、少なくとも語群の5つ以上の語句を使用すること。使用した語句は、解答文中にアンダーラインを引いて示すこと。

【語群】 ①水質汚濁防止法 ②特定施設 ③厨房除害設備 ④下水道法の規制基準
⑤水質検査記録 ⑥公共下水道管理者 ⑦真の発生原因 ⑧再発防止
⑨「業務引継書」